



平成 28 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社川金ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 鈴木 信吉
(コード番号 5614 東証第二部)
問合せ先 取締役経営管理部長 青木 満
(TEL. 048-259-1111)

**平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異
および営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ**

平成 28 年 5 月 13 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値と本日公表の実績値において、下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期累計期間業績予想数値と実績値との差異
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前 回 発 表 予 想(A)	13,000	200	120	10	0.50
実 績(B)	13,586	509	△169	△271	△13.72
増 減 額(B-A)	586	309	△289	△281	
増 減 率(%)	4.5	155.0	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期 第 2 四半期)	13,656	169	16	△69	△3.52

2. 差異の理由および営業外費用の計上について

営業利益につきましては、原価低減活動や生産効率化の効果によって、素材材事業、土木建築機材事業で利益率の改善が見られ、当初の計画を上回りました。

営業外損益では、平成 29 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）において、為替差損 588 百万円を計上しておりましたが、その後の為替相場の変動により、第 2 四半期連結会計期間に為替差損が 112 百万円追加発生したため、第 2 四半期連結累計期間において 700 百万円の為替差損を営業外費用に計上いたしました。この結果、経常利益および親会社に帰属する四半期純利益は計画を下回りました。

これは主として、当社グループが保有する外貨建資産負債を当第 2 四半期末時点における為替相場での評価替えにより発生したものであり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

また、平成 29 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、為替の動向が先行き不透明であることから、現時点では平成 28 年 5 月 13 日に公表した通期連結業績予想を据え置くことといたします。今後の業績動向により予想修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上